

# POWER!



2023年  
3月  
vol. **84**

令和5年(2023年)  
3月20日発行

発行所 ● 日本薬剤師連盟  
〒160-0004  
東京都新宿区四谷4-3  
四谷トーセイビル2階  
TEL (03) 3225-3100  
FAX (03) 3225-3200

発行月 ● 隔月発行

<http://www.yakuren.jp>

## ● 本田あきこ プロフィール

- 参議院議員・薬剤師
- 1971年9月29日 熊本県生まれ
- 星座:てんびん座
- 血液型:A型

### ■ 学 歴

平成2年3月 私立九州女学院高等学校  
(現ルーテル学院)卒業  
平成8年3月 星薬科大学卒業

### ■ 職 歴

医薬品卸勤務/製薬会社/保険薬局  
(公社)熊本県薬剤師会勤務  
参議院議員公設秘書

平成29年3月 日本薬剤師連盟 副会長  
令和元年 7月 参議院議員通常選挙  
自民党比例区 初当選  
令和3年11月 自由民主党副幹事長  
参議院自民党副幹事長  
女性局長代理  
令和4年 8月 厚生労働大臣政務官兼内閣府大臣政務官



令和4年9月28日  
臨時評議員会にて挨拶

# 臨時評議員会で決定!! 組織内統一候補 本田あきこ



## 風力計



日本薬剤師連盟  
副会長 浜田 嘉則

「ごち、みんなで立ち上がる」

人生100年時代を見据え、誰もがより長く元気に活躍できる社会を目指した持続可能な社会保障制度の構築に向けた取り組みが進められており、薬剤師・薬局を取り巻く環境も激しく変化しています。社会環境の変化に伴い、業界の環境も変化していくとはいえ、そのスピードは私が大学を卒業した33年前と比べると10倍以上にも感じられます。

以前はこの業界はこんな感じに変化するのではないかと、なんとなく予測することも出来ましたが、激しく変化し先が見えないような現状には不安を感じることがあります。こうした変化に加え薬剤師にとって厳しい逆風が吹いている中で、日本薬剤師会の役員の先生方は知恵を結集し、薬剤師の将来の為にさまざまな課題に立ち向かっていただいています。このような日本薬剤師会の活動を政治面からフォローするのが日本薬剤師連盟の使命です。

昨年9月に開催された臨時評議員会において、本田あきこ先生を次期参議院選挙の組織内統一候補とすることが決定されました。薬剤師連盟の活動目的を達成していくために、組織代表二人体制を死守する為の新たな戦いが始まっています。

# 女性の政治参加の意義を考えよう

## JPLフォーラム2023開催される！

令和5年2月26日(日)午後1時30分より都内貸会議室A P日本橋においてJPL (Japan Pharmacist Ladies)フォーラムが「女性の政治参加の意義を考えよう」をテーマとして3年ぶりに開催して開催された。

田城企画実行委員の司会のもと、冒頭に山本会長の挨拶がなされた。薬剤師の半分以上が女性であり、仕事や子育てなど多忙な女性がその力を結集してどう政治に関わっていくか、どうしたら我々の代表の2人体制を維持するこ

とができるかが組織にとって極めて重要である。薬剤師が社会の中で働き、それが結果として国民が安心して薬の提供を受けられる、まさに安心を守る社会を作ることとなる。参加者の皆さんが地域に戻って身近なところから裾野をひろげていっていただきたいと述べられた。

な活動によりこれからの本田先生を支えていきたいと述べられた。

### 特別講演

特別講演は三原じゅん子参議院議員より「不妊予防支援パッケージについて」と題して行われた。

三原じゅん子議員が厚生労働副大臣時代に女性アスリートからの訴えがきっかけとなった「不妊予防支援パッケージ」について、文部科学省、スポーツ庁に掛け合うなど省庁の縦割りの壁を打破し、政治家でないといけないことを情熱を持って押し通して成立させたと熱く語られた。

女性、子供、介護に関わる政策が日本は遅れがちだがそれは当事者である女性議員が少ないからである。政治の力で若い女性の健康、未来を守ることが出来る。

### 基調講演

グループごとの写真撮影ののち、基調講演は本田あきこ参議院議員より「いのちと暮らしを守るために」と題して行われた。

当選してこれからという時に新型コロナウイルス感染症が世界を襲った。全てにおいて新しい試みが求められた。コロナ禍での薬剤師の役割については国としても認識している。今現場の薬剤師が一番困っているのは医薬品流通問題であり、それを解決するのは簡単ではないが、それが自分の役目である。現場の声を聞けることが大事である。

第8次医療計画には災害、在宅において薬局薬剤師の活用が盛り込まれていることについても触れられ、薬剤師がその

職能を果たすことは国民のいのちと暮らしを守ることでありそれが国家の繁栄につながる。政治に関心のない現場の薬剤師も増えてきているが、先人たちが創ってきたのが今日であり、未来を創るのは私たちである。女性の力を結集していただき、次の政策に繋げていきたいと力強く結ばれた。

### 「本田あきこ物語」上映

続いて橋本常任総務より、この後に行われるグループディスカッションの趣旨説明があり、そのグループディスカッションのキーとなる『本田あきこ物語第二章』本田あきこ議員の議員になってからの活動報告を上映した。

### グループディスカッション

グループディスカッションはまずは都道府県規模別グループでのスモールグループディスカッション(以下SGDI)として、女性の政治参加の意義について改めて考え、そしていかに『本田あきこ物語』をひろめていくかについて協議をした。続いて席を移動し、SGDIIとして、ブロック別のグループとなり、SGDIでの協議内容について情報共有を行い、継続して行っているプロジェクトの今後の計画を立てた。SGDでは企画実行委員がファシリテーターを務めた。

### 総評

最後に川田幹事長より、久しぶりのリアル開催で顔の見える関係づくりが大切だと改めて感じた。『本田あきこ物語』を持ち帰り、参加者及び他の人も活用できるように進めていきたい。皆さんは人と人のつながりを大事にするキーパー



田城委員



山本会長



近藤由利子日本女性薬剤師連盟会長



神谷政幸参議院議員



三原じゅん子参議院議員



本田あきこ参議院議員



橋本常任総務



グループA



グループB



グループC



グループD



グループE



グループF



グループ討議の様子

今回のフォーラムではSGDI、IIで話し合った行動計画についてそれぞれが報告書を記入、提出し、内容について各

都道府県会長・幹事長と共有、協議していただくこととなった。画面越しではなく実際に会うことで、これまでブロックミーティングで築いた絆がより強固なものとなったことは明白であり、次期選挙に向けてさらなる女性パワーを発揮することが期待される。



川田幹事長

# 歴代 薬剤師議員 とその歩み

凡例：氏名/衆or参・選挙区/政党

高野一夫/参・比/自由 (昭和28年~昭和40年)

須原昭二/参/社会 (昭和46年~昭和52年)

谷口是巨/衆/公明 (昭和51年~昭和55年)

野沢清人/衆/自民 (昭和27年~昭和28年◆昭和30年~昭和35年)

網岡雄/衆/社会 (昭和58年~61年◆平成2年~5年)

山本正和/参・比/社会 (昭和61年~平成16年)

伊藤昌弘/衆/民社 (昭和58年~昭和61年)

肥田美代子/参/社会 (平成元年~平成7年)衆/民主(平成8年~平成17年)

大野由利子/衆/公明 (平成2年~平成12年)

沼川洋一/衆/公明 (昭和58年~平成2年)

松本純/衆/自民 (平成8年~12年◆平成15年~令和3年)

石井道子/参・比/自民 (昭和59年~平成13年)

藤井基之/参・比/自民 (平成13年~平成19年◆平成22年~令和4年)

三井辨雄/衆/民主 (平成12年~平成24年)

長葦基/参/自民 (平成7年~平成13年)

常田享詳/参/自民 (平成7年~平成19年)

常田享詳/参/自民 (平成7年~平成19年)

常田享詳/参/自民 (平成7年~平成19年)

樋口俊一/衆/民主 (平成16年◆平成21年~平成24年)

神谷政幸/参・比/自民 (令和4年~)

本田顕子/参・比/自民 (令和元年~現在)

渡嘉敷奈緒美/衆/自民 (平成17年~平成21年◆平成24年~令和3年)

達坂誠二/衆/立民 (平成17年~平成24年◆平成25年~現在)

はたもとこ/参・比/生活 (平成23年~平成24年)



①日本薬政会創設、②医薬分業法施行、③医薬分業実施に伴う新診療報酬体系実施、④現行薬剤師法、薬事法公布、⑤日本薬剤師連盟発足、⑥処方箋料50点に引き上げ、⑦医療法に薬局を記載、⑧医薬分業推進モデル事業始まる⑨医薬分業モデル国立病院、院外処方箋発行開始、⑩医療法に、医療の担い手として薬剤師を明記、⑪薬剤師の在宅訪問薬剤管理指導科新設、⑫薬剤師法に調剤時の情報提供義務規定、⑬介護保険法施行、薬剤師も在宅介護に参加、⑭薬学6年制施行、⑮医療法に薬局を医療提供施設として明記、⑯医薬品医療機器等法改正、⑰リフィル処方箋の導入

# 令和5年度政府予算案について

政府は昨年末の臨時国会において、令和4年度補正予算を成立させるとともに、来年度の予算案を閣議決定した。令和5年度予算は通常国会において成立することになる。薬剤師・薬局に係る来年度予算案と令和4年度補正予算の概要を解説する。

## 1. 令和4年度補正予算

(単位:百万円)

- ①電子処方箋の安全かつ正確な運用に向けた環境整備 ……3,431(R3補正933)
- ②保健医療福祉分野の公開鍵基盤(HPKI)の普及 ……2,161百万円(新規)  
医師・歯科医師・薬剤師が電子処方箋へ電子署名を行えるよう、認証局にカード発行費用を補助し、HPKIカードの普及推進を行う。また、カードの発行を前提に、カードの紛失や緊急に処方箋に署名が必要な場合といった万が一の事態に備えてカードレスでも電子署名することができるクラウド署名サービスの構築を行い、その利便性の向上を図る。
- ③薬局における自宅療養等の患者に対する薬剤交付支援事業 ……128(R3補正187)
- ④全国の薬局情報を全国統一的に管理するシステムの改修等(デジタル庁一括計上予算) ……300(R3補正84)

## 2. 令和5年度予算案

(単位:百万円)

- ①ICTの進展等を踏まえた薬局機能の高度化推進 ……62(新規)  
自治体等と連携して、薬局のICTの進展への対応や、対人業務強化のためのガイドライン作成、高度な専門性の発揮に焦点を定めた研修、健康サポート機能の最大化に取り組むとともに、これらの取組の効果を検証する。
- ②全国の薬局情報を全国統一的に管理するシステムの運用等(デジタル庁一括計上予算) ……184(新規)  
全国の薬局情報を一括して検索できるよう、薬局機能情報提供制度の全国統一システムに活用することとしている医療機関等情報支援システム(G-MIS)の運用等を行う。
- ③データヘルス改革を見据えた次世代型お薬手帳の活用推進 ……38→14
- ④薬剤師確保のための支援体制の整備 ……24→24
- ⑤卒後臨床研修の効果的な実施体制の構築 ……18→18

- ⑥薬剤師の資質向上等に資する研修 ……25→6
- ⑦一般用医薬品適正使用推進のための研修 ……5→5
- ⑧医薬品適正使用の普及啓発 ……5→5
- ⑨薬局医療安全対策の推進 ……63→53
- ⑩薬剤師養成問題の検討 ……1→1
- ⑪緊急避妊薬販売に係る環境整備のための調査 ……10(新規)  
処方箋なしで緊急避妊薬を販売するための対応等を検討するため、緊急避妊薬の調剤実績がある薬局などの実態調査等を踏まえ、薬局における緊急避妊薬販売時の留意事項、情報提供の在り方について調査検討を行う。

### 【医療情報化支援基金(電子処方箋関係予算)】

- ①医療情報化支援基金による支援 ……13,087  
電子処方箋の導入に必要な医療機関・薬局のシステム整備の支援を行う。

## オレノジ日記

参議院議員・薬剤師 本田顕子



### 日々の歴史をつくるのは

ドイツの哲学者ニーチェは多くの名言を残しました。そのひとつ、「日々の歴史をつくる」。私が研修会などで薬剤師の「いま」に至る道のりを話すときに紹介する言葉です。



歴史は「いま」とは無関係の古めかしいものと思いがちですが、この言葉は、ごく当たり前に過ごす一日一日の中で、一人ひとりの行動の積み重ねから歴史は創り続けられているということを私たちに伝えてくれます。薬剤師の職能や信頼の広がりも、ある一時期に突如としてもたらされたわけではなく、先人による日々の積み重ねの歴史そのものであり、そのことをお伝えする“つどい”と“語らい”の機会を日本薬剤師連盟が設けてくださっています。

2月26日にJPL\*フォーラム2023が3年ぶりにリアル開催され、47都道府県の女性薬剤師の先生方と直接お目にかかることができました。

地域でリーダー的な役割を担っていただく女性薬剤師の皆様が集うことで、その日からの歴史づくりが始まります。



薬剤師が研鑽を重ね、職能を発揮することが、地域の皆さまの健康増進につながり、地域の発展、そして国家の活力につながります。

「いま」を生きる一人ひとりの薬剤師による日々の積み重ねが、近未来の薬剤師の歴史になります。

そのために私も精一杯がんばります！  
皆さまとともに、薬剤師の歴史を創ってまいりましょう！

\* Japan Pharmacist Ladies

## 政幸だより

参議院議員・薬剤師 神谷政幸



### 大麻規制の見直し

厚生労働省の大麻規制検討小委員会では、大麻規制のあり方について検討が行われ、昨年9月に議論のとりまとめが公表され、このとりまとめをもとに大麻取締法等の改正に向けて検討されています。

見直しの背景として、近年の若年層を中心とした大麻事犯の増加(令和3年の検挙人員数を平成25年と比較すると、薬物事犯全体の検挙人員の1.1倍に対し、大麻事犯は3.6倍)、諸外国における大麻由来医薬品の医療用途への活用等が指摘されています。

現行の大麻取締法(昭和23年制定)は成分規制ではなく部位規制であり、所持に対する罰則は規定されていますが使用に対する罰則がありません。また、大麻所持で検挙された者の多くが、大麻の使用罪がないことを認識した上で使用しているとのこと。このため、大麻の使用罪を設けるとともに、THC等の有害成分を規制する方向だそうです。

また、諸外国では大麻草から製造された医薬品が難治性てんかんの治療薬として活用されており、我が国でもそのような医薬品の施用を可能とする方向だそうです。

私も地元高校の学校薬剤師として、薬物乱用防止に関する講義を行ったことがあり、大麻の有害性やゲートウェイドラッグとなる危険性等についても触れたことがあります。大麻の乱用防止、医薬品としての適正な活用のための法改正が速やかになされるよう期待しています。

来年度から本誌POWER発行回数が年6回から年4回に変更になります。令和5年度の発行月は5月、7月、10月、1月を予定しております。発行頻度は少なくなりますが、SNSの活用など、これまで以上に充実した広報活動に向けて力を注いで参ります。何卒ご理解を賜りたく、引き続きのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 編集後記

暖かさが増し草花が芽吹く、そして少し重たい春の空気感が好きなのは、私が3月生まれであることも一つの要因だろう。私にとって、春の訪れを強く感じるのがふたつある。一つは薬局の近くにある「枝垂れ桜」だ。例年、3月中旬から下旬にかけて満開となる。染井吉野が満開となる花見シーズンにもなると、その枝垂れ桜は少しずつ花を落とし始める。花が散り、緑が芽吹く頃にはなんだか物悲しくなる。どこか出かけて見に行くような桜ではなく、近所に咲く一本の「枝垂れ桜」こそが春の訪れを感じさせるのだ。

もう一つが「鬢付け油の香り」だ。実家近くには力士の宿舎が多く、公園には土俵もある。大阪場所前ともなると若手力士が、近所の商店街のコインランドリーに洗濯に出かけた後、買い出しに出かけたり、とそこかしこで見かけることとなる。子供の頃から、なんとも言えないあの甘い香りが大変好きだ。

春を感じるエッセンスは人それぞれ違うのだろうが、季節を感じるものが最近では少なくなってきたように思う。

この春には中間年改定の名の下、今年も薬価改定がなされる見込みだ。私が春を強く感じる要素がもう一つ増えそうだ。



### 広報委員

- 原口 亨、石井 甲一
- 浜田 嘉則、橋本 昌子
- 和泉啓司郎、小屋敷淳子
- 堀越 博一、渡邊美知子

(H・H)